

## 連合「平和行動 in 長崎」参加レポート

北河内地域協議会【寝大畷地区】

船井電機労働組合 谷 俊郎

8/8～10の3日間、「平和行動 in 長崎」に参加させて頂きました。

8日は、「2018 平和長崎集会」に参加し、大勢の方が核兵器廃絶と世界の平和にを求める活動を行いました。連合長崎会長や長崎県知事、長崎市長、ITUC 法制局長の挨拶がありました。その後、長崎原爆の被爆者から73年前の被爆体験の話があり、戦争の恐ろしさや原爆の凄まじさを話され、改めて戦争と核兵器は絶対になくさないといけないと痛感しました。その反面、今の時代はどれだけ何不自由なく豊かに幸せに生きているんだと痛感しました。ユース代表から若者からのメッセージがあり、「微力だけど無力じゃない。」という言葉聞いて戦争や核廃絶だけではなく、何にでもあてはまる言葉だなと感じました。最後に「for the peace of world」をみんなで合唱しました。会場皆が一体となり、大変感動しました。

9日午前中は「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」に参加しました。地元の高中生くらいの女子が冷たい水やおしぼりなどを集会の間ずっと暑い中配布しており、驚きました。長崎市長が日本国が核廃絶の核兵器禁止条約に参加しない事について述べていた。その後、安倍総理大臣からの話もありましたが、そのことには全く触れていませんでした。そのことについて、被災者を目の前にきっちり答えて欲しいと感じました。

9日午後からは、「ピースウォーク」に参加させて頂きました。連合長崎のメンバーで構成されたピースガイドの方から平和公園内の慰霊碑や記念碑を巡りながら詳しく説明して頂きました。その後、ゴール地点の平和資料館へ行き、資料館を見学しました。9日夕方から、万灯流しに参加しました。大勢の参加者で流す万灯は非常に綺麗でした。

この2日間を通して、昨年も被爆者が2人亡くなったという事で被爆者の方々は、数年後には誰もいなくなってしまうという事から、原爆や戦争の恐怖を語り継ぐ人達がいなくなる事で、同じ歴史を繰り返さないようにするという事を次は次の世代が語り継がないといけないと感じました。参加して得た知識・経験を今後の活動にいかしていかなければならないと感じました。

また、今回非常に勉強になったので、広島・北海道・沖縄の平和行動についても参加したいと考えています。